

新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 2026

ドニゼッティ

「愛の妙薬」

【全2幕<イタリア語上演/日本語及び英語字幕付>】

2026年7月10日(金) 11日(土) 13日(月) 14日(火) 15日(水) 16日(木)
全6回公演 全日13:00開演 新国立劇場オペラパレス

チケット料金:全席指定 2,750 円(高校生以下)/6,600 円(一般 [大人])

高校生以下発売日:2026年6月7日(日) 一般発売日(大人):6月21日(日)

オペラパレスで“本物の感動”体験

新国立劇場「高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、現代舞台芸術の一層の普及を目指す新国立劇場が、次の世代を担う青少年に向け優れた舞台芸術を提供する機会として、1998年より開催している事業です。「初めてのオペラ鑑賞だからこそ、本物のオペラを体験していただきたい」という願いを込めて、演出、舞台美術、衣裳など本公演と全く同じプロダクションを上演。日本を代表するオペラ歌手が出演し、生のオーケストラ演奏で上演しています。高校生を学生扱いせず、一般のお客様と全く同じスタイルで名作オペラを全曲鑑賞していただくというコンセプトが大変好評をいただいています。

2026年の東京公演は、ドニゼッティのロマンティック・コメディ『愛の妙薬』を上演します。『愛の妙薬』は偽の惚れ薬をめぐる、コミカルでちょっぴりホロリとする恋の物語で、愛を求めて悩んだり意地を張ったりして葛藤する若者の姿が広く共感呼びます。哀愁漂う名曲「人知れぬ涙」をはじめ、魅力的な音楽も盛りだくさんです。新国立劇場のリエヴィ演出は、9メートルもある巨大な本や実物大の小型飛行機などがカラフルな舞台に登場するなど、舞台ならではの遊び心がいっぱい、高校生の皆さんをわくわくさせるに違いありません。

高校生のためのオペラ鑑賞教室
『愛の妙薬』2013年公演より

助成: 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

協賛: 損保ジャパン

新国立劇場「高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、常松美登里子様からのご寄附を活用して行う公演事業です。

<写真、資料のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場制作部 オペラ広報 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/ e-mail:takanashi_y1307@nntt.jac.go.jp

■新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室



高校生のためのオペラ鑑賞教室 会場風景
生から感動の音が寄せられています。

新国立劇場は、次の世代を担う青少年に優れた芸術を鑑賞する機会を提供するため、1998年度より25年以上にわたり「高校生のためのオペラ鑑賞教室」を開催しています。新国立劇場の世界水準のオペラ公演と全く同じプロダクションを、低価格で高校生に鑑賞していただいております。

本鑑賞教室には、国内を代表するオペラ歌手とオーケストラが出演し、通常公演と同じ全幕上演をお届けします。マイクを使わない生の歌声、迫真の演技、大迫力の演奏、豪華な舞台セットや照明効果等、最高水準のオペラが持つ様々な魅力に、多くの高校

2026年の東京公演は、ドニゼッティの傑作『愛の妙薬』を上演します。偽の惚れ薬をめぐる、コミカルでちょっぴりホロリとする恋の物語で、愛を求めて悩んだり意地を張ったりして葛藤する若者の姿が、広く共感を呼びます。哀愁漂う名曲「人知れぬ涙」をはじめ、魅力的な音楽も盛りだくさんです。新国立劇場のリエヴィ演出は、9メートルもある巨大な本や実物大の小型飛行機などがカラフルな舞台に登場するなど、舞台ならではの遊び心がいっぱい、多感な高校生をわくわくさせること間違いありません。一生の宝物となるオペラ体験になることでしょう。



高校生のためのオペラ鑑賞教室
『愛の妙薬』2013年公演より



鑑賞教室にご来場いただいた高校生のインタビュー動画
「ようこそオペラへ！高校生にインタビュー！」

<https://www.youtube.com/watch?v=4Jm4MRfhCe4>

■2025年鑑賞教室『蝶々夫人』アンケートより

2025年(プッチーニ作曲『蝶々夫人』を上演)のアンケート結果によると、オペラ初鑑賞の高校生は全体の約8割(78.0%)を占め、多くの高校生が鑑賞後に「とても良かった/面白かった」「良かった」と回答しました。また、公演の良かったところとして1位「音楽」、2位「物語の内容」、3位「出演者」と続いています。次の世代を担う青少年に向け優れた舞台芸術を提供することができたと判断しています。参加する学校も年々増え、毎年首都圏の約50校以上が鑑賞教室を体験しています。

【2025年高校生の感想(アンケートより一部抜粋)】

- ◆感動した。本当に凄くてもう1回見たいと思った。素敵な時間をありがとうございました。
- ◆声の響きがすごかったです。表情がとても豊かだった。強弱だけでも迫力を感じた。
- ◆オペラ自体、初めてで特に声量、オーケストラなど全てが迫力でした。歌っていない人も動作があり、凄かったです。最後蝶々夫人の、子どもとの最後の別れがとても切なくて涙しました。
- ◆あらすじを読むまで、そんな悲しい話だと思っていなかったの、驚いた。一生の思い出になりました。みなさん本当に良いオペラをありがとうございます。
- ◆最後の方は涙が止まらなかった。すごいと言う言葉が失礼に感じるくらい、すごかったし、すばらしかった。
- ◆蝶々さんが歩くときに宙に浮いているみたいで感激をうけた。照明による影の演出に魅了され、オーケストラの演奏による役者さんの演技に引き込まれました。
- ◆正直、オペラに興味なく、今回も嬉しく待ってた訳ではなかったのに、泣きました。子ども役の子も声はなしでも体で表現していてすごかった。オペラにすごく興味のできたので、また見に行きたい。
- ◆マイク無しとは思えない圧巻の歌声に心を動かされました。私も、舞台に立って歌うのが夢なので、今日感じたことを生かせるように練習を頑張ろうと思いました。
- ◆劇場で観ると臨場感があり、胸に迫るものがありました。音楽と歌も素晴らしかったです。
- ◆今まであまりオペラに触れる機会がなかったので見に行くまでイメージがつかなかったけれど、実際に見てみて凄さが分かりました。すごく広い会場に歌声と演奏が響いているのが、迫力があって面白かったです。歌声の大きさや演奏の仕方、舞台の光の色や明暗など色々な方法で情景を表していて綺麗でした。蝶々夫人が舞台上で寝転がったり、子供を抱いたりしながら歌

を歌っていたのがすごいと思ったし、歌詞は日本語ではないけどどんなシーンなのかが伝わってきた。

◆登場人物 1 人 1 人の表情が遠いとよく見えないのかなと思ったけど、体で表現していて、表情が見えないけど見えた気がしました。見れたことがとても嬉しかったです。素晴らしい舞台、構成、音楽に沢山努力が詰まっているなど感じました。最高なものを見せてもらって本当に良かったです！ありがとうございました。

◆今回の「蝶々夫人」が初めてのオペラ鑑賞となりました。僕はセットの規模感に驚いたとともに、セットの一部であった階段が結婚式の場面や後半での来客の場面で効果的に使われており、今ステージ上で何が起きているのかが分かりやすかったです。そのほかにも、蝶々夫人の息子には劇中を通してセリフはありませんでしたが、クライマックスの母親である蝶々夫人との別れのシーンでは、少年の背中から、まるで少年がこれが母親と過ごす最期の時間であることを悟っているような雰囲気が伝わってきて、場面を一層引き立てているように感じました。

■2026 年上演『愛の妙薬』 あらすじ

純朴な農夫ネモリーノは農場主の娘アディーナに夢中。軍曹のベルコーレが彼女を口説くので、ネモリーノも勇気をふるって告白するが相手にされない。そこへインチキ薬売りドゥルカマールが登場、愛の妙薬と称し安物のワインを彼に売りつける。酔っぱらったネモリーノは急に強気になるが、怒ったアディーナはベルコーレと結婚することに。ネモリーノはさらに妙薬を買うお金を得るために軍隊に入隊する。心打たれたアディーナはネモリーノに愛を告白、二人は結ばれる。



高校生のためのオペラ鑑賞教室
『愛の妙薬』2013 年公演より

■主要スタッフ・キャストプロフィール

【指揮】現田茂夫

1979 年東京音楽大学指揮専攻に入学。汐澤安彦、三石精一両氏に師事。82 年東京藝術大学指揮専攻に入学。佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。86 年東京二期会のオペラ『ヘンゼルとグレーテル』でデビュー。87 年大学卒業と同時に新星日本交響楽団の指揮者に就任。ドレスデン・フィル、スロヴァキア・フィル、ブラハ交響楽団、サンレモ交響楽団等に客演し、コンサート、オペラ両面で活動を続ける。94 年のブラハの春での佐藤しのぶコンサートは全ヨーロッパで放映された。国内のオーケストラにも精力的に客演し、96 年神奈川フィルハーモニー管弦楽団指揮者に、2000 年常任指揮者、09 年より名誉指揮者に就任。オペラ指揮者としての経験は豊かで二期会 21、関西二期会、錦織健プロデュースオペラ、佐藤しのぶ『夕鶴』公演等、歌手からの信頼も厚い。NHK の FM「シンフォニー・コンサート」のパーソナリティを長年務める等バラエティに富んだ活動を行なっている。新国立劇場へは平成 21 年度文化庁芸術祭祝典 国際音楽の日記念『メリーメリー・ウィドウ祝典版』以来の登場。

GENDA Shigeo



【演出】チェーザレ・リエヴィ

イタリアのブレシア・ガルニャーノ生まれ。イタリア、ドイツ、オーストリアで1980年代に舞台演出家として成功を収める。オペラの分野では90年代よりミラノ・スカラ座でシーズン・オープニングの『パルジファル』、ウィーン国立歌劇場『ジェズアルド』、メトロポリタン歌劇場『チェネントラ』、ベルリン州立歌劇場『マノン』、モデナ市立劇場『ピーター・グライムズ』、カターニャ・ベッリーニ劇場『ラインの黄金』『ワルキューレ』などを手がけている。チューリヒ歌劇場には継続的に招かれ、『妖精ヴィットリ』『道化師』『シチリアの晩鐘』『ジュリオ・チェーザレ』『アルジェのイタリア女』など数多くの作品を発表している。最近ではサンパウロ歌劇場『マノン・レスコー』、クラーゲンフルト歌劇場『カルメン』、モンテカルロ歌劇場『ワリー』、パルマ・ヴェルディ音楽祭『ドン・カルロ』などの新演出を手がけている。

Cesare LIEVI



【アディーナ】光岡暁恵

昭和音楽大学卒業、同大学大学院修了。文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として渡伊。2008 年静岡オペラ国際コンクール優勝（日本人初）、オーディエンス賞、三浦環特別賞の三冠獲得。藤原歌劇団には、06 年『ランスへの旅』フォルヴィル伯爵夫人でデビュー、『ルチア』タイトルロール、『夢遊病の女』アミーナ、『カブレーティ家とモンテッキ家』、ジュリエッタ『リゴレット』ジルダ、『清教徒』エルヴィーラ他で好評を得ている。その他、新国立劇場には 13 年高校生のためのオペラ鑑賞教室『愛の妙薬』アディーナ、21 年『ドン・カルロ』天よりの声で出演。25 年藤原歌劇団創立 90 周年記念公演『ファルスタッフ』ナンネッタで出演。第 39 回川崎市アゼリア輝賞受賞。藤原歌劇団団員。昭和音楽大学非常勤講師。

MITSUOKA Akie <7 月 10 日・13 日・15 日>



【アディーナ】種谷典子

国立音楽大学および同大学院を首席で修了。学部卒業時に武岡賞、大学院修了時に声楽専攻最優秀賞受賞。新国立劇場オペラ研修所第 16 期修了。文化庁新進芸術家海外研修員としてミラノおよびルガーノにて研鑽を積む。第 24 回リカルド・ザンドナイ国際コンクール特別賞受賞。第 16 回東京音楽コンクール声楽部門第 2 位。第 91 回日本音楽コンクール声楽部門（歌曲）第 2 位。オペラでは『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ、『ドン・バスクワレ』ノリーナ、『なりゆき泥棒』ベレニーチェ、『こうもり』アデーレなどに出演。2021 年『魔笛』パバゲーナで二期会デビュー、続いて 22 年の二期会『フィガロの結婚』スザンナで一躍注目を集める。日生劇場『セビリアの理髪師』、東京文化会館オペラ BOX『子どもと魔法』にも出演。23 年には二期会『椿姫』にてヴィオレッタを演じ、今後の更なる活躍が期待されている。コンサートでも準・メルクル指揮台湾フィルハーモニック『合唱幻想曲』、マカオ国際音楽祭『第九』などのソリストとして高い評価を得ている。新国立劇場では本公演と鑑賞教室ルームシアター京都公演

TANETANI Noriko <7 月 11 日・14 日・16 日>



『魔笛』パパゲーナに出演。26/27 シーズンは『ばらの騎士』ゾフィーに出演予定。二期会会員。

【ネモリーノ】 中井亮一

NAKAI Ryoichi 〈7月10日・13日・15日〉

名古屋芸術大学音楽科首席卒業、同大学院修了。2008年ミラノ・スカラ座音楽院オペラ研修所(合唱)修了。『コジ・ファン・トゥッテ』(合唱)でスカラ座に出演したほか、ロッシーニ・オペラ・フェスティバル、フェニーチェ歌劇場などイタリア各地で活躍。藤原歌劇団には10年『タンクレーディ』のアルジリーオで賛助出演してデビュー以降、『セビリアの理髪師』『夢遊病の女』『椿姫』『ファルスタッフ』などに出演し、いずれも絶賛を博している。新国立劇場には『愛の妙薬』ネモリーノ、高校生のためのオペラ鑑賞教室・ロームシアター京都公演『ドン・パスクワレ』エルネストに出演。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。桜美林大学、昭和音楽大学非常勤講師。



【ネモリーノ】 糸賀修平

ITOGA Shuhei 〈7月11日・14日・16日〉

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第10期修了。平成22年度文化庁芸術家在外研修員としてイタリアへ留学。その後ローム ミュージック ファンデーションの音楽在外研究生としてベルリンへ留学。二期会『こうもり』アルフレード、『コジ・ファン・トゥッテ』フェランド、藤原歌劇団『ランスへの旅』騎士ベルフィオーレ、あいちトリエンナーレ『魔笛』タミーノ、全国共同制作オペラ『愛の妙薬』ネモリーノなどに出演。新国立劇場では『フィガロの結婚』『死の都』『サロメ』『蝶々夫人』『ファルスタッフ』『ウェルテル』『トゥーランドット』『カルメン』『トスカ』『ピーター・グライムズ』『リゴレット』、高校生のためのオペラ鑑賞教室・ロームシアター京都公演『魔笛』タミーノなど数多く出演。25/26 シーズン『エレクトラ』若い下僕、26/27 シーズン『ピーター・グライムズ』ボブ・ボウルズ、『サロメ』5人のユダヤ人4、『ファルスタッフ』バルドルフォ、高校生のためのオペラ鑑賞教室 2026・ロームシアター京都公演『蝶々夫人』ゴローに出演予定。二期会会員。



【ベルコーレ】 池内 響

IKEUCHI Hibiki 〈7月10日・13日・15日〉

東京芸術大学卒業。同大学院修了後、渡伊。ミラノで研鑽を積み、第56回ヴェルディの声国際コンクール入選、第10回サルヴァトーレ・リチートラ声楽コンクール第1位。さらに第20回東京音楽コンクール第1位および聴衆賞ほか受賞歴多数。2015年、日生劇場『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールにてオペラデビュー。その後も、日生劇場および全国共同制作オペラ『ラ・ボエーム』マルチェッロ、びわ湖ホール『ばらの騎士』ファーニナル、『死の都』フランク、日本フィル『仮面舞踏会』レナート、ソニックシティ『平家物語—平清盛—』題名役などで出演。26年はNHKニューイヤーオペラコンサート、全国共同制作オペラ『愛の妙薬』ベルコーレなどに出演し、いずれも高い評価を得ている。またコンサートにおいても『第九』『メサイア』などのソリストとして活躍。新国立劇場初登場。



【ベルコーレ】 大久保惇史

OKUBO Atsushi 〈7月11日・14日・16日〉

千葉県出身。東邦音楽大学卒業時三室戸貴光賞受賞。同総合芸術研究所修了。新国立劇場オペラ研修所第23期修了。ANAスカラシップによりミラノ・スカラ座アカデミーで研修。これまでに『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『ジャンニ・スキッキ』タイトルロール、『コジ・ファン・トゥッテ』ドン・アルフォンソ、『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、『トスカ』シャルローネ、『領事』ジョン・ソレル等に出演。新国立劇場本公演では『魔笛』『エフゲニー・オネーギン』『トリスタンとイゾルデ』『ウィリアム・テル』等でカヴァーを務め、特に2025年『フィレンツェの悲劇』シモーネのカヴァーでは進境著しい姿がカヴァーコンサートで話題となった。同年『ジャンニ・スキッキ』ピネッリーノで新国立劇場デビュー。26/27シーズンは『トスカ』シャルローネに出演予定。



【ドゥルカマーラ】 押川浩士

OSHIKAWA Hiroshi 〈7月10日・13日・15日〉

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。2010～11年、渡伊。アレツォ市コンクール優勝を機に『ラ・ボエーム』マルチェッロでイタリアデビュー。藤原歌劇団には11年『セビリアの理髪師』フィオレッコでデビュー後、『ドン・パスクワレ』マラテスタ、『ラ・チェネレントラ』ダンディーニ、『ドン・ジョヴァンニ』レポレッコ、『二人のフォスカリ』フランチェスコ・フォスカリ、『ファルスタッフ』タイトルロール、『ラ・トラヴィアータ』ジェルモン等で出演し、いずれも好評を得ている。新国立劇場には、11年こどものためのオペラ劇場『パルジファルとふしぎな聖杯』アンフォルタスでデビュー。その他、「第九」等のソリストや、各地で様々なコンサートに出演している。藤原歌劇団団員。洗足学園音楽大学非常勤講師。高鍋町ふるさと応援大使。



【ドゥルカマーラ】 田中大揮

TANAKA Taiki 〈7月11日・14日・16日〉

昭和音楽大学卒業、同大学院修了。2019年渡伊。12年『フィガロの結婚』バルトロで藤原歌劇団にデビュー以降、『仮面舞踏会』サムエル、『トスカ』シャルローネ、『愛の妙薬』ドゥルカマーラ、『セビリアの理髪師』バルトロ、『ドン・ジョヴァンニ』レポレッコ、『コジ・ファン・トゥッテ』ドン・アルフォンソ、『二人のフォスカリ』ヤコポ・ロレダーノなどで出演し、いずれも好評を得ている。日本オペラ協会には、21年『キジムナー時を翔ける』区長/地頭代、23年『夕鶴』惣どなどに出演。また文化庁人材育成『ジャンニ・スキッキ』ペット、『魔笛』弁者、藤沢市民オペラ『トスカ』シャルローネ/看守、ひろしまオペラルネットワーク『ドン・ジョヴァンニ』レポレッコなど各地でオペラに出演。そのほか『メサイア』『第九』、モーツァルト『レクイエム』などのバス・ソロとしても活躍。新国立劇場では『子どもと魔法』肘掛椅子/木、『ウィリアム・テル』メルクタール、『カルメン』スニガ、『ドン・ジョヴァンニ』騎士長に出演。藤原歌劇団団員。昭和音楽大学非常勤講師。



■公演概要

タイトル	新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 2026 「愛の妙薬」 全2幕<イタリア語上演/日本語及び英語字幕付>
スタッフ	指揮：現田茂夫 演出：チェーザレ・リエヴィ 美術：ルイジ・ペーレゴ 衣裳：マリーナ・ルクサルド 照明：立田雄士 再演演出：上原真希
キャスト	(7月10日・13日・15日) (7月11日・14日・16日) <アディーナ> 光岡暁恵 種谷典子 <ネモリーノ> 中井亮一 糸賀修平 <ベルコーレ> 池内 響 大久保惇史 <ドウルカマーラ> 押川浩士 田中大揮 <ジャンネッタ> 今野沙知恵 中畑有美子
合唱	新国立劇場合唱団
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
主催	公益財団法人新国立劇場運営財団
助成	公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
協賛	損害保険ジャパン株式会社
日程	2026年7月10日(金)13:00、11日(土)13:00、13日(月)13:00、 14日(火)13:00、15日(水)13:00、16日(木)13:00
会場	新国立劇場オペラパレス (東京都渋谷区本町 1-1-1)
料金(税込)	高校生以下:2,750円 一般(大人):6,600円
チケット発売	高校生以下発売日: 2026年6月7日(日)10:00～ 【Webボックスオフィス】一人1枚 【電話/窓口】一人4枚まで ※高校生以下を1名以上含む場合のみ、大人も同時購入可能(計4枚まで) 一般発売日(大人): 2026年6月21日(日)10:00～ 高校生以下…【Webボックスオフィス】一人1枚 【電話/窓口】一人4枚まで ※高校生以下を1名以上含む場合のみ、大人も同時購入可能(計4枚まで) 大人のみ…【Webボックスオフィス/チケットぴあ/電話/窓口】一人1枚 ※学校団体及び高校生以下の販売状況により、公演日によっては一般発売ではお求めに出来ない場合がございます。発売詳細は公演ウェブサイトをご覧ください。
チケットのお求め・ お問い合わせ	新国立劇場ボックスオフィス TEL: 03-5352-9999 Webボックスオフィス: https://nntt.pia.jp/ 公演ウェブサイト: https://www.nntt.jac.go.jp/opera/educational-lelisirdamore2026/